

九州大学病院

研修医 太田 昌成 2013年9月

初めまして。九州大学病院所属しております、初期研修医2年目の太田昌成と申します。

今回、初期臨床研修プログラムの地域医療研修として、1ヶ月間、出水総合医療センターにて研修させていただきました。

これまでに鹿児島市内に滞在したことはありましたが、北薩部を訪れた経験はなく、出水といえば、鶴の渡来地というイメージしかを持っていませんでした。

出水市に到着しての第一印象は、大学時代を過ごした大分のように、懐かしさを感じました。山海に囲まれた素晴らしい自然の中でこの1ヶ月間充実した研修を送ることができましたので、その内容を一部ご報告いたします。

出水総合医療センター内では、消化器内科にて内視鏡検査や腹部エコー検査を研修させていただきました、休日には救急外来のオンコールも経験させていただきました。

また、医療センター外では高尾野診療所、野田診療所での外来診療、往診、介護施設の回診や上場診療所、大川内診療所でのへき地医療など貴重な経験をすることができました。

私がこの一年あまりの間に経験したのは基幹病院での急性期診療であり、紹介患者様の診断、治療、療養病院・開業医への紹介といった流れがほとんどでした。

しかし、この1ヶ月で経験したのは、これまでの療養病院・開業医への紹介後の診療であり、特に、患者様の生活・社会背景に根差している点が強く印象に残りました。

私の出身大学の大学も山間部にあり、学生時代にも往診実習など、地域医療・へき地医療実習を行った経験がありますが、今回の研修では学生時代と比べ、地域連携の重要性をより肌身に感じる事ができたと思います。

本当に充実した1ヶ月間を過ごすことができました。

最後になりますが、院内・院外でご指導をいただいた先生方、コメディカル、スタッフの方々に深く御礼を申し上げます。

皆様のおかげで充実した、楽しい地域医療研修を送ることができました。

この1ヶ月間の経験を糧に、これから先も医師として研鑽を積んでいきたいと思っております。

ありがとうございました。